

coop

兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 **10**



8月21日(火)～8月22日(水)、コープこうべ協同学苑(兵庫県三木市)にて、兵庫JCC「第1回虹の仲間づくりカレッジ」を開催し、協同組合の職員25人が参加しました。「生産」「環境」「地域のコミュニティ」が抱える課題を「協同組合としていかに解決するか」をテーマに10月～2月の実践に向け企画づくりをすすめました。(関連ページ P.4)





神戸市民生活協同組合 専務理事
兵庫県生活協同組合連合会 理事

鈴木 雅子 (すずき・まさこ)

生協にまつわる記憶、 あるいは想うこと

今年4月から共済事業を行う生協で働いている。振り返れば、私には生協にまつわる三つの記憶がある。

一つ目は、中学生のときのクラス目標。「二人がみんなのために みんなが一人のために」を掲げていた。聞いた瞬間、うまいこと言うなああと心底感心した。その後、生協の店舗で(だっただと思うが)この言葉と再会する。

Wikipediaによると「この成句のもっとも古い記録は、1618年のボヘミアのカトリックとプロテスタントの両集団の指導者の集まりにおいてである。」とされ、1844年刊行の小説「三銃士」にも登場するという*。つまり生協が起源の言葉だと思っていた。

二つ目は、氷ブラック。大学内の生協運営の喫茶店では、夏にはメニューにかき氷が加わった。氷といえば、赤いイチゴ、黄色のレモン、緑のメロンが普通の時代。食べ終われば着色料で舌が染まった。ところがこの店の氷は2種類のみ。「みぞれ」と濃い焦茶色の「ブラック」。地味な見た目と名前に衝撃を受けた。確かコーヒー味。人工着色料・人工甘味料の安全性が問題となった頃で、生協ではそれらは使わないというポリシーの表れと聞いた。生協とは、そういうところだと知る。

三つ目は、阪神・淡路大震災発生翌

日。ガスタンク爆発の恐れが生じ、避難者を引率して別の避難所へと移動した。避難者数が膨らみ食料調達に悩んでいた夜、1台のトラックが通用門前に止まった。店舗に納入予定の食品を積んだ生協の車だった。全品、避難所に提供すると申出。有難さに涙が出るとともに、生協の二文字が、また、心に刻まれた。

私のこれらの記憶は、生協なり生協の職員が社会に対して何をなすべきか何ができるかを常日頃から考えていて、それを行動で示したことに心が動いたものだ。

当組合では、昨年度、新たにビジョンとアクションプランを策定した。信頼され選ばれる生協であるために、組合員の互いに助け合う心とお声をどう形にすればより安心をお届けできるのか、常に考えながら事業を展開する。共済は、保険料より掛金が安いとの理由で選ばれることも否めないが、まさしくOne for all, all for oneの仕組みであり、それが原点である。

組合員の相互扶助、組合職員の地域貢献をキーワードに、組合員・地域のために「考える」「行動する」を積み重ね、当組合も人の記憶、組合員の心に残る存在でありたいと思う。

*[Unus pro omnibus, omnes pro uno]『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』2017年10月7日(土)18:04 UTC、URL:https://ja.wikipedia.org

CONTENTS

2. 想点
3. 第30回近畿地区生協・行政合同会議／
第21回「監事研修会」のご案内
4. 兵庫JCC虹の仲間づくりカレッジ
5. 単協通信 生活クラブ生活協同組合都市生活／
2018年度兵協連「初級経理学校」のご案内

6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. 2018年度兵庫JCC協同組合研究・交流会のご案内／
県連日誌／編集後記

第30回近畿地区生協・行政合同会議

テーマ：『安心してらせる地域社会づくりをめざして』 ～誰一人取り残さない社会の実現に向けて～

8月29日(木)、「第30回近畿地区生協・行政合同会議」が、「安心してらせる地域社会づくりをめざして～誰一人取り残さない社会の実現に向けて～」をテーマに琵琶湖ホテル3階「瑠璃」で開催されました。

この会議は、近畿2府4県と福井県を加えた7府県の生協連合会で構成する「近畿地区生協府県連合協議会」主催で毎年開催しています。

30回目となる今回は、日本生協連や府県生協連の担当者と、厚生労働省や各府県の自治体生協担当者を交え、総勢41名が出席しました。会議は、活動の交流と協働、連携によって安心してらせる地域社会づくりへつないでいくことを目的に開催しました。

各府県連からの事例報告では、①奈良県生協連合会が「奈良県における生協と社会福祉協議会との連携」②京都府消費生活安全センターからエシカル消費推進ネットワークの取り組み③一般社団滋賀グリーン購入ネットワークから活動]紹介④KC'sから特定適格消費者団体としての一年間の取り組みについての4つの報告がありました。社会的課題解決に向け連携・協同の着実な成果と、一層の促進の重要性を確認できる大変有意義な会議でした。



兵庫県・兵協連共催 第21回「監事研修会」のご案内

2008年に生協法が大幅に改訂され、組織運営の健全性を高めるために理事の責任と理事会および監事の権限が強化・明確化されました。兵庫県生協連では、その取り組みの進捗状況や補強すべき課題などについて確認するため、監事および監事スタッフを対象に研修会を開催しています。

今回は、日本生協連総合マネジメント本部から講師を派遣いただき、監事監査研修（実践編）を開催いたします。

- 日 時** 11月2日(金) 13時30分～16時30分
会 場 兵庫県民会館12階1202号室（神戸市中央区下山手通4-16-3）
定 員 50人（申し込み先着順）
対 象 会員生協の監事、ならびに監事スタッフ
内 容 (1) ごあいさつ
兵庫県企画県民部県民生活局消費生活課
主幹 奥見 知子氏
(2) 「年間時系列による監事監査のポイント」
日本生活協同組合連合会 総合マネジメント本部 法務部
監事監査支援担当 岡坂 充容氏
(3) 質疑応答、意見交換
持参品 「生協監事監査ハンドブック下巻」（日本生協連 / 編）

◆お申し込み・お問い合わせ

兵庫県生活協同組合連合会 TEL (078) 391-8634 【10月18日(木)締切】

～兵庫JCC 第1回 虹の仲間づくりカレッジ～

今年度の
テーマ

『生産』『環境』『地域のコミュニティ』などが抱える課題を「協同組合としていかに解決するか」という視点で考え、実践につなげる。



コープおきなわ
石原修さん

各団体からの報告 (JF)

8月21日(火)～22日(水)、2018年度第1回虹の仲間づくりカレッジを開催しました。1日目は、参加者の自己紹介・各協同組合設立の背景と概要の共有後、コープおきなわの職員で内閣府地域活性化伝道師の石原修氏の講演「誇り・未来・人づくりのための地域連携」を行いました。石原氏の多くの実践に基づいた講演は説得力があり、連携意識の高揚につながりました。午後からは、①2017年度カレッジ生による報告②参加の各団体から「生産」「環境」「地域コミュニティ」が抱える課題と協同組合が解決している実践事例の報告を行いました。



イマコラボ
稲村健夫さん

各グループ実践テーマ発表

2日目は、史料館での、「協同組合とコープこうべの歴史と理念」の学習に続き、一般社団法人イマコラボ代表理事 稲村健夫氏を講師として「SDGsとは何か?」SDGsカードゲームで学ぶの公開講座を開催しました。JA教育部やJF、コープこうべ、生活クラブ生活協同組合都市生活等からも参加があり、総勢41名で開催する関心の高さが伺われました。感想レポートも、「SDGsとその実践の要諦について非常によく理解できた」と好評でした。午後からは、各協同組合の社会的課題解決の取り組みのこれまでと今後の可能性について各グループごと活発に議論を行いました。

生活クラブ生活協同組合都市生活

健康な食に活かせる体験をあなたもぜひ！
見て！味わって！身につく！「食育ワークショップ」

生活クラブ生活協同組合都市生活では、健康な食生活に役立つ「食育ワークショップ」を、生協内だけでなく、地域でも展開しています。

8月26日(土)にJR摩耶駅近くで開催された『まや六甲マルシェ』では、親子を対象に「作ればわかる！ジュースの色、香り、味の正体」と題して、実験や試飲を交えて、ジュースの正体に迫る体験をするワークショップを実施しました。「オレレンジ」が入っているように見える清涼飲料水も、色・香りともに人工的な添加物で作れること、思っている以上に砂糖が含まれていること、また、あるものを入れることでたつぷり砂糖の入った飲み物でもスッキリ飲めること等、初めて知ったという参加者もたくさんいました。特に暑い夏は、水分摂取が大事ですが、「ジュースの正体」を知っていれば、熱中症にも効果がある牛乳や、家庭でお安く簡単にできる水出し茶を飲むこともできます。

他にも、「おいしそうなソーセージにはウラがある？食品添加物レッスン初級編」「おにぎり実験でわかる！見えない添加物」等のプログラムがあります。

保育園、幼稚園、小学校や地域のイベント等に：とご興味を持たれた方、リーフレットをご希望の方は、生活クラブ生活協同組合都市生活(078-90413260山本)までお問い合わせください。

(通信員 小松高志)



2018年度兵協連「初級経理学校」のご案内

勘定科目や会計処理及び税務上の留意点について学び、決算関係書類等の開示事項、作成上の留意点を学びます。

- 【日 時】 11月20日(火) 10時00分～16時30分
- 【会 場】 兵庫県民会館12階1202号室 (神戸市中央区下山手通4-16-3)
- 【定 員】 30人 (申し込み先着順)
- 【対 象】 会員生協 (関連子会社含む) の経理実務担当職員
- 【内 容】 (1) 経理実務者に必要な会計処理と実務課題 (基礎編)
 (2) 決算関係書類の作成上の留意点 (基礎編)
- 【講 師】 日本生活協同組合連合会
 経理部 部長スタッフ
 公認会計士 石川 雅之氏
- 【持参品】 「2訂版 生協の会計実務の手引き」
- 【受講料】 1人 1,000円

◆お申し込み・お問い合わせ

兵庫県生活協同組合連合会 TEL (078) 391-8634

協同組合のかけ橋

JF

神戸市漁連・JF 兵庫漁連

今年も開催! 平成30年度マリンスクール

コープこうべ・神戸市漁連（JF 神戸市）・JF 兵庫漁連による協同組合の連携活動として毎年実施しているマリンスクール（2コース）が今年も開催され、参加した親子連れ（約180人）は楽しく漁業や県内産水産物について学びました。

第35回となるJF 神戸市コース（7月25～26日）では「せり市」を見学したり、「魚のつかみ取り」、「ヒラメ稚魚の放流」、「タコの塩もみ」などを体験したほか、兵庫の漁業と環境のつながりを学習しました。また、稚魚の放流では、神戸市立栽培漁業センターの協力で魚を増やすことの大切さを学びました。

一方、第8回目となるJF 兵庫漁連SEAT-CLUBコース（8月3日・8月4日）では「干しダコ作り」や「アジの三枚おろし」、「チリメンモンスター探し」、「兵庫の漁業と環境の学習」に挑戦しました。みなさん、普段あまり魚にふれる機会がないのか、どの内容も親子で一緒に目を輝かせて取り組んでいました。

どちらのコースも、終了後のアンケートでは多くの方が来年も参加したいとのことと、とても楽しんでもらえたようです。JF 兵庫漁連では、このマリンスクールを通して、漁業や水産物をより広く身近に感じてもらえるよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



干しダコづくり用のタコの掴みどり



ヒラメ稚魚の放流（JF 神戸市コース）

JA

JA 丹波ひかみ

丹波大納言小豆の生産拡大に向けて ～生産振興会を設立～

JA 丹波ひかみは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の取り組みについて、自己改革プログラムを定め、役職員一丸となって進めています。

同JAは、農業者の所得増大にむけて、丹波大納言小豆の生産拡大に取り組んでいます。産地を維持発展させるために、生産農家が栽培に関する情報共有と技術研鑽により安定生産及び品質向上を目指すとともに、会員相互の交流を促し仲間づくりをすることで生産意欲の高揚を図ることを目的に、6月4日に「丹波大納言小豆生産振興会」を設立しました。

また、同JAは、丹波市産の丹波大納言小豆を100%使用した「小豆茶」を開発し、5月から販売を開始。ポリフェノールが含まれ、ノンカフェインで小豆の香りが楽しめます。小豆茶は同JAの直売所で購入できます。

さらに、JAでは通常の営農指導員の指導に加え、小豆を栽培する熟練生産者を「小豆生産アドバイザー」に任命し、JA職員とともに圃場巡回をしたり、栽培講習会で栽培技術の指導をしています。



丹波市産の
丹波大納言小豆を100%
使用した「小豆茶」



丹波大納言小豆生産振興会が設立。丹波大納言小豆の安定生産、品質向上をめざします。



最近の消費生活相談事例

原野商法の「二次被害」トラブル

事例

30年前に値上がりすると言われ購入した原野（山林）を持っていたが、見知らぬ業者から売却しないかと電話があった。相続問題で困っていたこともあり自宅で話を聞いたところ、税金対策として、「売却」と同時に別の土地を「購入」することになった。売却と購入の差額の40万円を支払うだけと思っていたが、さらに400万円を請求され困っている。（90代・女性）

【アドバイス】

値上がりの見込みがほとんどないような山林や原野について「将来高値で売れる」などと勧誘して不当に買わせる手口を「原野商法」と言い、1970～1980年代にかけて被害が多発しました。過去にこの原野商法で被害にあった方が再度被害にあう『二次被害』が最近目立っています。

相談内容は次の3つの類型に分けられます。

- ①「下取り型」：原野を買い取ると勧誘し、節税対策や後で返金すると言いながら、原野の売却と新たな土地の購入がセットになっている。
- ②「サービス提供型」：原野を売却するためには測量や整地等が必要で、その費用が請求される。
- ③「管理費請求型」：覚えのない管理者から過去に購入した原野の管理費を請求される。

今回の事例は①下取り型にあたります。

兵庫県内の消費生活センターに寄せられた相談者の平均年齢は73歳（過去3年間）と高齢者が多く、数十年前にだまされて購入した土地を子供に残して迷惑をかけたくないという気持ちから、再びだまされてしまうことが多いようです。

被害にあわないためには以下の点に注意しましょう。

- ・土地を買い取る、諸費用は後で返す、と言われてもきっぱり断る。
 - ・根拠がはっきりしない請求には応じない。
 - ・宅地建物取引業の免許を持っていても安易に信用しない。
 - ・おかしいと思ったら、トラブルにあったら消費生活センター（局番なしの188 [いやや]）等に相談する。
- 高齢者が被害にあうケースが多いため、家族など身近な方々が高齢者に声をかけ、見守ることも大切です。

（兵庫県立消費生活総合センター ☎078・303・0999）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

最近、運動不足かと感じ始め、朝早めに起きて、体操することになっています。歯を磨き、水を一杯飲んで、体操を始めるのです。なんとなくラジオを付けますが、ラジオ体操ではありません。体操を始めるまでは、まだ半分、寝ているような感じですが、いざ体を動かかしはじめると、だんだん、目が覚めてきて、終わるころには、すっきり目覚めているのです。ただ、昼前くらいに、一度、眠気に襲われてしまいますが。

さて、8月9日、ひょうご消費者ネットがモンベルのグループ会社である株式会社ベルカディアに対して提起していた裁判で、和解が成立しました。どんな裁判だったかというと、ベルカディアは、登山ツアーなどを企画し、旅行参加者に対して「事故が起きて自己責任。事業者には責任を及ぼさない」という内容の同意書に、署名を強いていました。これをやめるように求めた裁判でした。そして、今回、このような免責条項を削除し、「危機管理は自己責任。ただし、法的権利を何ら放棄するものではない」と記載する内容で和解となりました。

これをきっかけに、泣き寝入りしてしまう消費者が少なくなることを願っています。

（ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記）



MOVE

2018年度兵庫JCC協同組合研究・交流会

～生活協同組合に関係する「福祉施設」など見学し、
これからの高齢化社会や環境について考えよう～

▶兵庫JCCとは？

兵庫県の生協・農協・漁協・森林組合で構成する組織。兵庫JCCでは、協同組合間交流を通じて協同組合運動相互の連携をはかり、よりよい社会づくりを目指しています。

▶兵庫JCC研究・交流会について

兵庫JCCでは協同組合研究・交流会を互いの活動を知り交流を深めることを目的に2008年から実施しています。今年度は、「ハイム本山（サ高住）」「iCommons」「阪神友愛食品(株)」、埋立地に苗木を植え、100年かけて生物多様性の森づくりをすすめている「県立尼崎の森中央緑地」を見学します。

日時：2018年11月6日(火) 9:15～17:10
場所：次の100年を見据えた生協の取り組みを視察

◆スケジュール◆

- 9:15 JR神戸駅・南側集合（観光バスで移動します）
オリエンテーション
- 10:00～10:30 「コープは～とらんどハイム本山」（コープこうべ）見学
内科クリニック（ろっこう医療生協）や保育所、地域交流スペースを併設した2021年に創立100周年を迎えるコープこうべのサービス付き高齢者向け住宅。
- 11:00～12:10 日本の大学の最先端「iCommons」（甲南大学生協）見学&昼食
甲南学園創立100周年記念事業として昨年完成した巨大施設。1300席の食堂、コンビニ、TSUTAYA BOOKSTOREやトレーニングジムなどを備え、運営を甲南大学生協が行っています。最先端の大学生協施設をご覧ください。
- 12:50～13:50 阪神友愛食品(株)・見学 兵庫県、阪神7市1町とコープこうべが出資した第三セクター方式の重度障害者多数雇用施設です。
- 14:50～15:40 100年かけて森づくり「兵庫県立尼崎の森中央緑地」見学&植樹
昨年からは「コープ活動の森」活動がスタート。その一角に植樹します。
- 16:20頃 JR住吉駅前・希望者は下車、17:10頃 JR神戸駅・南側 解散
コープこうべ最大の店舗「シアア」でお買い物をお楽しみいただけます。



兵庫県立尼崎の森中央緑地

**参加・昼食代
無料！
定員50名**

★参加される皆様へ★ 当日朝7時に、阪神間（神戸市～尼崎市）で大雨、暴風、波浪警報が出ている場合は、中止となります。中止の場合は、各団体から連絡いたします。

主催／兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）

【お問い合わせ先】兵庫県生活協同組合連合会

電話：078-391-8634 FAX：078-392-2059

**応募締切
2018年10月15日(月)**

県連日誌

- 10月1日(月) 兵協連第3回理事会 (県民会館 1201)
- 10月4日(木) 2018年度兵庫県生協大会 (県民会館9階けんみんホール)
- 10月19日(金)～20日(土) 東日本被災地支援活動 (仙台)
- 10月23日(火) 兵庫JCC 第2回虹の仲間づくりカレッジ (コープこうべ協同学苑)
- 10月24日(水) 兵協連第2回監事会(上期監査) (県民会館 兵協連事務所)
- 10月29日(月) 第9回ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会 (コープこうべ住吉事務所)

編集後記

台風20号、21号、北海道地震と天災が続き、日々普段の生活ができることの幸せをつくづく感じています。また、普段の生活には「健康」であることが重要です。9月からは「健康」が「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」が始まりました。9月22日(土)には、コープこうべ協同学苑にてキックオフ大会も開催されました。東京大学大学院 佐々木敏教授と三上公也氏とのトークセッションや「健康づくり」の各ブースには、たくさんの方の組合員さんが参加され大いににぎわいました。今から始めることがこれから先の健康につながる「健康チャレンジ」に皆さんも参加しませんか。(村上)

